

# 平成30年度 徳島県教育会研究主題

## 研究主題

### 「変化する社会の中で、心豊かにたくましく生き抜く日本人の育成」

－未来を切り拓く、夢あふれる「人財」を育む教育活動－

#### 主題設定の趣旨

今日の社会は、グローバル化に伴い、人・モノ・金・情報や様々な文化・価値観が国境を越えて流動化するなど、急速に変化し先行きが不透明な状況になっている。

国内においても、少子化・高齢化の急激な進展や生産年齢人口の減少による経済規模の縮小など、社会全体の活力の低下が懸念されている。また、家族形態の変容及び価値観やライフスタイルの多様化を背景とする社会のつながりの希薄化が、規範意識の低下といった教育上の問題の一因ともなっている。さらには、環境問題、食料・エネルギー問題など様々な地球規模の問題にも直面しており、物質的な豊かさのみの視点から脱却し、持続可能な社会の構築に向けての対応が不可欠となっている。

このような変化が激しく将来の予測が難しい時代にあって、人々がそれぞれの人生を豊かに生きていく力を身に付けていくには、教育の力によるところが大きい。私たち教職員一人一人が、どのような子供を育て、そのためにどのような教育活動を実践すべきかを考える必要に迫られている。

国は、新学習指導要領等<sup>\*1</sup>で、「将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野をもち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たち一人一人に確実に育む学校教育の実現」を目指し、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までを見据えて改善を図るようにした。特に、「どのように学ぶか」では、学びの本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を、「何ができるようになるか」では、新しい時代に必要となる資質・能力として、「生きて働く『知識・技能』の習得」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性』の涵養」を挙げている。

また、本県では、「とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる『人財』の育成」を基本方針とした「徳島教育大綱」を策定し、教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めた。その中で、「新たな視点や発想に基づく価値を創造し、自らの行動により、未来を切り拓いていく人財」や「夢を抱き、その実現に向け、失敗を恐れず、果敢に挑戦する情熱あふれる人財」などの4つの具体像を挙げている。

私たち教職員は、このような新たな時代に対応した教育の流れを念頭に置き、学校教育の重要性を再認識するとともに、個々の資質・職能の向上に努め、学校力を強化し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子供たちに育むことのできる教育に取り組みなければならない。そして、子供たちが、夢を抱き、自らの行動により未来を切り拓いていくための「生きる力」を身に付けられる場と機会を創出することが大切である。

子供たち一人一人が、個性・能力を生かし、他者と協働しながら、心豊かにたくましく生き抜くための力を育む教育活動が、すべての学校（園）で行われることを願って、本主題を設定した。

---

<sup>\*1</sup> 文部科学省公示の各校種の学習指導要領(29.3 及び 30.3)、幼稚園教育要領(29.3)、厚生労働省告示の保育所保育指針(29.3)、内閣府告示の幼保連携型認定こども園教育・保育要領(29.3)